

2020年1月号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL&FAX: 078-822-0810 第2FAX: 078-842-2430

■URL: <http://www.motomerukai.com>

■Email: info.motomerukai@gmail.com

求める会ニューズ No. 972



あけましておめでとうございます。
今年も皆さんにとって良い年でありますように。

去年は異常気象や台風の被害等いろいろありましたが、ラグビーのワールドカップで盛り上がり、年を越しました。

今年も東京オリンピックを目前に、3月から始まる聖火リレーに向けて盛り上がっていますが、その裏で地球の温暖化やネオニコチノイド系の農薬や残留農薬など命にかかわる問題がスルーされています。特に遺伝子編集食品です。かつて遺伝子組み換え食品の安全性をめぐり、私達消費者は導入に反対し、遺伝子組み換え食品には表示を義務づけました。ところが今度は「ゲノム編集」です。ゲノム編集のメリットばかりが取りざたされ、安全性の議論はなく、それらの食品に表示もしない危険な流れになってきています。1月18日(土) ラッセホール「食の安全はなぜ脅かされるようになったのか?」(詳しくはチラシ参照)の講演会に参加して「ダメなものはダメ!」の意思表示をしましょう。

ヨーロッパ諸国は学校給食にオーガニックの食材を導入する動きが相次ぎ、政府としても環境と健康に配慮した給食を支援しており、フランスは2022年までに給食

食材のオーガニック比率を50%にすることを法律で定める方向で取り組まれています。イタリアでは幼稚園と小学校には100%のオーガニック食、中・高・大学・病院では少なくとも35%のオーガニック食を義務付けている所もあるようです。そしてお隣の韓国では2021年からソウルのすべての小・中・高で[オーガニック無償給食]が全面施行されるとのことです。

10年ほど前から学校給食にオーガニック食材を用いるために、行政は学校給食システムを作り、生産者は出荷会を作り、民主的な出荷会を運営。生産者には補助金が出るし、ほとんどが学校給食に出荷されます。学校給食でオーガニック食材を使うことで、大手スーパーでもかなり広くオーガニックコーナーを作っているそうです。

韓国の有機栽培の農地は5%で、日本(0.3%)の18倍、しかも増え続けています。10年以上も前になりますが、毎年韓国から十数名の生産者の方々が来日して、市有研の有機農業や求める会の生産者との提携について熱心に勉強されていた姿を思い出します。今度は私達が韓国のオーガニック給食と生産者の取り組みに学ぶ番なのかもしれません。

5月の求める会の総会から7ヶ月が過ぎ、生産者や配送をお願いしている「あしの会」の奥谷さんとの話し合いの場を持ち、会員の皆さんとは全体会や秋の地域集会でいろいろな意見を聞くことが出来ました。この間、「求める会」の今後について話し合いを続けてきましたが、2月の全体会でどの案にするか決めて、総会での審議に持って行く予定です。

よろしくお祈りします。

(求める会代表 近藤 幸子)

12月全体会報告

12月18日(水) 10:00~12:30

【検討事項】

1. 会の今後に向けての具体的な動きについて

◇12月16日、影山製油所を訪問。影山さんと加納さん、求める会は村川、高橋、飛田、小浦で今後のことについて話し合いました。

影山さんは何よりも消費者との提携関係を大事に考えており、できるなら会を続けてほしいと思っています。現在、求める会の購入量は180本ほど。会員の高齢化などで今後消費量が増えることは難しい。共同購入できなくなっても何人かでまとめて直接注文するとか、あしの会から買うこともできるが、会としてももう少し話をつめ、生産者に具体的な方策を示せるように考えなければならない。

◇来年度の総会に向けて、2月全体会までに以下の①②③のどの形で会を閉じるのか、方向性を決める。

①お金のある間は現在の形で会を続ける→会員の高齢化が著しいなか世話人のなり手があるのか。同じ理由で購入量は減っていく一方。共同購入会計も現在すでに赤字だ。お金の続く限りというような漠然とした理由で会を続けるのは生産者にとって先が見えず不安。

②共同購入はやめて運動体のみ残す→お金の引き継ぎはどうするのか、運動体のみといっても、誰が、どんな形で活動していくのか。地域集会では、運動体として残して欲しいという声は多かったが、世話人になろうという声はなかった。

③全部すっぱりと閉じる→生産者にいつまでとはっきり言えるというメリットはある。お金の処分もはっきりした形で決められる。

2. ゲノム編集に関する講演会について(配布済みのチラシ参照)。

1月18日(土) 13:30~17:00 ラッセホール(兵庫県教育会館)5階、参加費500円。

○講演会「食の安全はなぜ脅かされるようになったのか？」講師：天笠啓祐氏(日本消費者連盟共同代表) ○各地の生産者を囲んで ○安心、安全な食べ物の展示コーナー。

3. 来年度の収穫感謝祭について→挙手多数で開催決定、11/21(土)会場は予約済み。

4. 2/16(日)「オーガニックのつどい2020」(兵有研関係)からの事業部物品参加要請について→同封のチラシ参照。

5. 影山製油所からのクラウドファンディング協力依頼について

12/16現在990,000円。求める会は37万円。12/26の締め切りまでには200万円になるか。

【報告事項】

◎生産者担当 ◆野菜 ・いま畑には大根、白菜、かぶ、里芋など。・大根の中に黒い筋がある→栄養が足りないせいとのこと。・冬瓜の切り口に砂がついていた。・ブロッコリーを縦に切らないでほしい。切り口の実がぼろぼろになり茎も使いにくい。・サラダ水菜ばかりでなく、従来からある水菜を出してほしい。

・バターナッツばかり、普通のカボチャがほしい→普通のカボチャは表皮が柔らかいのでイノシシに全部やられてしまった。・水菜、チンゲン菜、小松菜は茎が長いし大きすぎる→野菜サイズの上限は一応取り決めをしていたはずだがもう一度話し合いたい

◆卵 ひなの入荷が難しくなって卵の量が心配。鶏肉が出ます。火曜、木曜コース(亀井町グループ~大久保グループ)。

◆米 1月は全部豊岡橋本さんのお米。

◆大豆 なんとか希望量は満たせそう。

◆果物 りんご：普通品と加工用の玉の大きさが同じ。段でサイズを変えることはできないのか検討してほしい。

◎会員担当 12月は204名。

◎渉外担当 1月22日 食料環境セミナー「東遊園地ファーマーズマーケットから広がる新たな農的つながり」

食料環境セミナー報告

「神鋼石炭火力発電所の増設計画と
神戸市域の大気汚染を考える」
神戸の石炭火力発電を考える会
菊井 順一 さん

11月27日(水) 10:30~12:00

JR六甲道の駅から南を見ると建設中の大きな建造物が見えます。これは2017年、高炉跡地に建設が始まった石炭火力発電所3、4号機です。西側にはすでに1、2号機が稼働していて150メートルの高い煙突がそびえています。2022年に4機すべてが稼働すると、合計270万キロワット(原発3基分)の巨大な石炭火力発電所になります。

このあたりは深刻な大気汚染があった地域で、みんなが手をあげ声をあげ、工夫して改善してきました。2017年高炉が停止し、59年続いた高炉による大気汚染がなくなると、一部未達成だった環境基準もクリアしました。ところがその跡地に石炭火力発電所3、4号機が設置されるのです。電気はすべて関西電力が買取ります。

こんな人口密集地に近い場所にCO₂や汚染物質を長く出し続ける(稼働期間25~30年以上。若い人に負の遺産)巨大な石炭火力発電所を作ってもいいのでしょうか。今頃石炭か、これは問題だと立ち上げられたのが「神戸の石炭火力発電を考える会」です。

情報発信や公害調停ではまともに対応してもらえないので、市民が原告となり二つの裁判を起こしています。ひとつは建設、稼働差し止めを求める民事訴訟。もうひとつは、石炭火力発電所の増設計画を止める規制をせず環境への影響評価が不十分なまま計画を認めた国に対する行政訴訟です。

増設計画について、神鋼は地域と共生す

る先進的都市型発電所だと説明していません。窒素酸化物、硫黄酸化物、SPM(浮遊粒子状物質)などの排出量の新環境保全協定値は、今の実績値からではなく、昔からの古い協定値から導き出されています。それより少ない、減っているというわけです。

神戸市は、3号機ができるとここまで、4号機ができるとここまで出してもいいと値を決めています。神鋼の排出量は神戸市全体の6割。3、4号機ができると7~8割にもなります。神戸市の空気、市民の健康を神鋼がにぎっているのです。神戸市は市民の安心安全、将来の大気汚染、気候変動を考えるべきです。

また国はPM_{2.5}については調査を求めています。神鋼も国がいいというのでゼロ回答です。しかしPM_{2.5}は粒子が非常に小さく、肺の奥深くまで入り、喘息、気管支炎、肺がんのリスクが高い。近年の解析でPM_{2.5}の値はSPMの濃度に0.7をかけた値ということがわかってきました。それによると、SPM値は環境基準値をクリアしますが、PM_{2.5}は基準値を上回ります。PM_{2.5}の濃度が上がった日は死亡者が増えるそうです。

わずか3年間の大気汚染の改善からまた新しい汚染。これからどう戦うか。皆さんの選択です。神戸市もメディアもあまり取り上げませんが注目してほしいと言われました。

(西山町G 岡 和美)

次回食料環境セミナー

「東遊園地ファーマーズマーケット
から広がる新たな農的つながり」

一般社団法人

KOBE FARMERS MARKET

理事 小泉 亜由美 さん

1月22日(水) 10:30~12:00

1月のカレンダー



- 1月 8日 (水) 部会
- 1月 15日 (水) 全体会
- 1月 18日 (土) ゲノム編集講演会
- 1月 20日 (日) 共同購入申込締切日
- 1月 21日 (月) 自動引き落とし日

麩鶏 (40羽) の配送日と配送コース

- 1月14日 (火) 逆瀬川D 逆瀬川C 本一センター 篠原北町 粟生新家
 - 1月16日 (木) 亀井町 竜七 北須磨B 北須磨C つつじが丘 野田通り 朝霧 東仲ノ町 大久保
- ガラのみ：加古川東 月見山本町 都由乃町

日本有機農業研究会全国大会 IN 水

俣

1月全体会議題

1. 会の今後に向けての具体的な動きについて
 - ・ 浄慶さんとの話し合い
 - ・ 総会に向けて決めなければいけない方向性
- 方向性については12月全体会報告に記載されている通り、

- I、会のお金が続くまで存続する
- II、共同購入をやめて、運動体だけを残す
- III、会全てを終了する

それぞれのメリット、デメリットを考えて今後について決めていきたいと思っています。ぜひ出席して、意見をお聞かせください。

「遺伝子を編集した怪しい食べ物をナゲ食べさせられるの？」

日時：2020年1月18日 (土) 13:30～

講師：天笠 啓祐さん

場所：ラッセホール (兵庫県教育会館)

参加費：500円

託児あり (申込はFAXまたはメールで)

主催：有機農業の集い神戸市民の会

2020年1月 配送予定

月	火	水	木	金	土	日
30	31	1/1	2	3	4	5
	休み		休み	休み		
6	7	8	9	10	11	12
	野菜年始初 牛肉		豚肉	牛肉 取扱品②		
13	14	15	16	17	18	19
	取扱品②	全体会	お茶・油 取扱品② 牛肉	お茶・油 豚肉		
20	21	22	23	24	25	26
	お茶・油 豚肉	セミナー	お米	お米		
27		29	30	31		
	お米					

二〇二〇年 元旦



本年もどうぞよろしく



影山製油所クラウドファンディング ご協力のお礼

12月24日に目標額200万円が達成され成立しました。求める会では最終金額が385,000円+(直接ネットで送った人の額)となりました。1月20日の引き落としで清算させていただきます。たくさんのご協力に感謝申し上げます。

食料環境セミナー

「東遊園地ファーマーズマーケットから広がる新たな農的つながり」

2020年1月22日 (水) 10:30～12:00

講師：イートローカルコウベ ファーマーズマーケット主催 小泉 亜由美さん

会場：神戸学生青年センター

参加費：600円

主催：(公財) 神戸学生青年センター